

平成 27 年 1 月 22 日

関係各位

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター  
教員選考委員会委員長 山根健治

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター教員公募について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターにおいて下記の要領で教員を公募することになりました。つきましては、関係の方々にお知らせ下さるようお願い申し上げます。

なお、本教員にはバイオサイエンスに関連した教育・研究に意欲的に取り組んでいただくとともに、専任教員としてセンターの運営およびセンター内の実験機器類や飼育・栽培施設の管理・運営に当たっていただきます。さらに、遺伝子操作の基本技術および安全管理教育、学部学生の遺伝子工学に関する学生実験、公開講座やシンポジウム、講演会などを計画し開催する、共同研究を行う、高校生向けのバイテク講座を開催する、等によって宇都宮大学や地域のバイオサイエンス関連研究の発展や普及に取り組んでいただきます。

記

1. 職 種: 助教または准教授 2 名(任期 5 年)
2. 所 属: 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター
3. 応募資格: 博士の学位を有する方(平成 27 年 3 月取得見込可)
4. 応募分野: 1) バイオインフォマティクス分野: 様々な生物においてバイオインフォマティクスによる遺伝子情報の分析や活用についての研究を行っている方。  
(担当予定科目: バイオインフォマティクス、生物統計学 他)
- 2) 昆虫科学研究分野: 昆虫の生理生態、害虫防除、有益昆虫の利用等について遺伝子レベルから解析する研究を行っている方。  
(担当予定科目: 昆虫分子生物学、昆虫生態学、植物保護学 他)
5. 着任時期: 平成 27 年 6 月 1 日以降のできるだけ早い時期
6. 応募書類: 1) 個人調書 (当センターHP、<http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>より Word ファイルをダウンロードして使用)  
(記載内容)  
履歴、研究業績(原著論文、著書、総説、研究費の獲得状況等)、教育実績、これまでの研究内容(2000 字以内)、今後の教育および研究の計画、抱負(2000 字以内)、博士論文の要旨(1000 字以内)、  
応募者の研究、人物等について照会できる方(2 名)の氏名・連絡先
- 2) 主な原著論文別刷 3 編以内(コピー可)
7. 女性の応募について 本学は男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、女性の積極的な応募を歓迎いたします。また、本学では、子育てと仕事の両立支援策を推進しています。峰キャンパス内には「宇都宮大学まなびの森保育園」<http://www.manabinomorihoikuen.org/>があります。

8. 応募締切: 平成 27 年 3 月 10 日(火)必着

封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、簡易書留にて郵送

【書類の送付および問い合わせ先】

〒321-8505 宇都宮市峰町 350

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター 山根健治

e-mail:yamane@cc.utsunomiya-u.ac.jp TEL: 028-649-5527

9. 選考方法: 書類選考の後、最終選考にあたっては平成 27 年 3 月下旬頃に面接をお願い致しますが、面接のための交通費は自己負担であることを申し添えます。採用に至らなかった場合、応募書類は原則として返却いたしません。応募の秘密は厳守いたします。

<付記>

- 1)本教員は本学農学部の教授会に属します。また、宇都宮大学農学部は東京農工大学大学院連合農学研究科(後期 3 年のみ)の博士課程)の構成大学です。宇都宮大学では助教も授業を担当します。
- 2)本センターの目的は、バイオサイエンス分野の教育研究支援及び先端的な基礎並びに応用研究を推進し、バイオテクノロジーの啓発活動などを通して地域に貢献するとともに、関連分野の共同利用に供することです。本学は競争的環境の中で個性が輝く大学であることを目指すために、「十分かつ安全な食料の供給、生物資源の利活用、快適な環境の提供、生命の理解と人間の健康保持に寄与するために、持続的生物生産、環境の保全と修復、生命科学の発展と応用を共通の目標においた教育・研究を通して、地域社会並びに国際社会に貢献することのできる人材を育成する」ことを一つの理念・使命としています。また、栃木県内外の研究機関と共同研究や研究会を実施し、宇都宮大学が栃木県における組換え DNA 研究の中核として機能することも期待されています。

このような現状を踏まえ、当センターは以下のような貢献ができると考えています。

○食料の持続的生産、環境修復保全、生命の理解と活用のための、バイオテクノロジーに関する、

- 1)研究の高度化と実用化
- 2)教育訓練の充実
- 3)技術者・高度専門技術者・研究者の育成
- 4)組換え DNA 取扱及びラジオアイソトープ取扱の安全管理教育
- 5)学内外における共同研究の推進

○地域社会への還元と啓発のために、バイオテクノロジーに関する、

- 1)最新情報の収集・整理と地域研究者への提供
- 2)地域におけるセンター的役割
- 3)地域からの共同研究及び研究者の受け入れ
- 4)地域への新しい技術の提供と産官学によるイノベーションの推進
- 5)高校教員のための関連技術講習会の開催
- 6)公開講座・出前授業・サイエンスパートナーシップ等による一般・高校生への普及・啓発活動

※組織の概要や活動の詳細等は当センターのホームページ <http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/> をご覧ください。

以 上